

変わる図書館

愛媛県立図書館長 藤田 聡司

平成18年の春、「これからの図書館の在り方検討協力者会議」による報告「これからの図書館像」が出されました。それによると、これからの図書館には、単に「趣味や娯楽の本を無料で貸し出す施設」としての在り方だけでなく、「地域や住民の課題解決を支援し、地域の発展を支える情報拠点として役に立つ図書館」であることが求められています。そして、図書館がそのようなサービスを実施するには、地域の関係機関や団体との連携・協力が不可欠です。

例えば、当館では、平成18年の3月から、新しいサービスとして、ビジネス情報支援サービスを始めました。これまで図書館とはあまりつながりのなかった30のビジネス関連機関と連携して、起業や就職、資格取得などに関する情報を入手したい方のお役に立っております。6月、11月には、松山商工会議所等主催の起業家応援セミナーなどを後援し、当館を会場にして開催しました。今後とも、様々な機関と連携し、これまであまり図書館を利用してこられなかった方々のお役にも立ちたいと思っております。また、学校教育支援や子育て支援、医療・健康に関する情報提供サービスなどについても、できることから取り組んでいきたいと思っております。

また、子どもの読書活動の推進を県下各地に普及するため、市町立図書館や小・中学校、県立医療技術大学などに御協力いただき、お話し会、ブックトーク、メディカルトーク、講演会など様々な取組みを、図書館の外にも出かけて行って実施しています。館外に出かけて行って、様々な取組みをする中で、問題点も見えてきます。例えば、小学校は、本の読み聞かせをしてくれるボランティアを求めています。逆には、ボランティアに関する情報を持っていない。逆に、ボランティアの方たちは、自分たちの活動の場を求めています。どこが自分たちを受け入れてくれるかわからない。幸い、平成18年度の文部科学

省「市町村等における子どもの読書活動推進に関する調査研究」事業の委嘱を受けることができました。子どもの読書活動推進を継続的に実践するためには、地域における図書館、学校、ボランティア等の連携・協力が必要です。この調査研究事業で、県下の図書館、学校、ボランティア等の活動状況等の情報を収集しましたが、それらの情報を発信して、関係団体が連携しやすい環境を作りたいと考えています。

また、今年度の「文字・活字文化の日(10月27日)」記念事業として、「愛媛県立図書館秘蔵コレクション初公開」という企画展を、県生涯学習センターと共同で開催しました。当館で所蔵している資料のうち、正岡子規の随筆の自筆原稿や高浜虚子・河東碧梧桐の自筆短冊など「お宝」を、たくさんの方に観ていただき、アンケート調査の結果によると、「大変よかった」60%、「まあまあよかった」36%と、ほとんどの方に満足していただきました。

受け身で利用者の来館を「静かに待つ図書館」から「動き、情報を発信する図書館」へと変わりたい、そのために、様々な機関・人と連携を深めたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



子どもたちに絵本を読み
聞かせる藤田館長

図書館報名も変わりました!

通巻221号の歴史を持つ愛媛県立図書館報。長らく「読書えひめ」のタイトルで親しまれてきましたが、今号から「らいぶらり えひめ」に改名しました。ここでも心機一転、「新しい図書館」を目指しています。

仕事に役立つ図書館を目指します！

～ 愛媛県立図書館 ビジネス情報支援サービスの紹介 ～

ビジネス情報支援サービスとは

愛媛県立図書館では、平成18年3月10日よりビジネス情報支援サービスを開始しました。

このサービスは、「平日の午後5時以降（7時まで）や土日祝日も開館している」「基本的に無料で利用できる」「新聞雑誌のバックナンバーや流通していない資料など多種多様な資料を整理して所蔵している」「全国の図書館とのネットワークがある」などの特長を持つ県立図書館が、商工会議所や労働局などのビジネス関係の専門機関と連携し、ビジネスに役立つ情報を県民に提供することで、愛媛県経済の活性化、県民生活の向上に寄与しようとするものです。

「ビジネス」の支援というと、いわゆるビジネスマンだけを対象としたサービスかと、イメージされてしまうかもしれません。もちろんビジネスマンへの支援も行いますが、特に、中小企業・個人経営の方、独立・起業を目指す方、就職・転職・再就職を目指す方など、情報収集の面で不利な立場にある方々のお力になりたいと思っています。

サービスの内容

このサービスは、①ビジネス情報支援コーナーの設置、②司書による情報収集支援、③ビジネス関連イベントの実施、という三つの柱から構成されています。それぞれについて説明します。

①ビジネス情報支援コーナーの設置

3階第一閲覧室に、ビジネス情報支援図書コーナーを設置しました。ここには知的財産権、資格・職業、白書、世論調査、統計・データブック、会社情報、業界情報、年鑑などの資料を集めました。会社・業界情報、資格・職業に関する資料が、特によく利用されているようです。

2階には、連携しているビジネス関係の専門機関から提供された仕事に役立つパンフレットやチラシを配架したパンフレットコーナーを設置しました。各専門機関の業務案内、能力開発、起業、中小企業経営、雇用・就職・労務、その他の6分野に大きく分類しています。ハローワーク求人情報や国民生活金融公庫の経営実務シリーズ、中小企業庁の施策情報、『松山商工会議所報』などがよく持ち帰られています。各種セミナーや相談会などのイベント情報のチラシはビジネス情報支援図書コーナーの掲示板にも掲示しています。

（※平成19年1月16日より、コーナーの配置・構成を一部変更しています。）



ビジネス情報支援図書コーナー

②司書による情報収集支援

愛媛県立図書館では開館から閉館まで、司書資格を有した職員がカウンターに常駐し、利用者からのご相談に対応し、情報収集の支援を行っています。サービスを開始して、ビジネス関連の相談件数が徐々に増えてきました。「結婚相談所で用いる契約書の書式の参考資料はないか。」「看護師と薬剤師の給与の状況が知りたい。」「上島町の工業生産額・出荷額を、合併前を含めて5年分くらい知りたい。」などのご相談がこれまでに寄せられました。

また、より専門的な情報や助言が必要な場合には、その内容に応じて専門機関を紹介しています。例えば、起業を目指す利用者からのご相談では、松山商工会議所のシニアアドバイザーセンターを紹介しました。最新の海外進出企業の情報が知りたいという利用者にはジェトロ愛媛を紹介しました。

このような相談に応じた情報提供だけでなく、県立図書館からの情報発信も行っています。企業情報や統計情報、人物情報などの分野ごとに、必要な情報を入手するのに役立つ図書や雑誌、インターネット上の情報を解説した「調べ方ガイド」と、著作権や新会社法などのテーマごとに関連資料をリストアップした「ブックリスト」を作成し、館内で配布しています。また、県立図書館ウェブサイトの「ビジネス情報支援」のページでも、こまめに情報を発信するように努めています。

③ビジネス関連イベントの実施

専門機関が主催するイベントを県立図書館で実施します。普段あまり図書館を利用しない人にも県立図書館のビジネス情報支援サービスを知っていただくことをねらいとしています。また、会場に内容に関連した資料を展示することで、イベン

トに付加価値を付けることができます。これまでに松山商工会議所が主催するセミナーを3回、県立図書館で実施しました。参加者からは「生まれて初めて図書館に来ました。」「本の展示がよかった。」という声をいただいています。

県立図書館の外で実施される専門機関のイベントにも情報提供を行っています。愛媛若年者就職支援センター（愛work）の愛work フェスタ2006では、各イベントへの「調べ方ガイド」「ブックリスト」の提供に加え、講演会場に出張して資料の展示、貸出を行いました。また、松山商工会議所の創業塾では、県立図書館の職員が1コマ講義を担当し、図書館を利用した起業に必要な情報の集め方について話をしました。講義の後に実施した受講生へのアンケートでは、「今後はもっと利用したい。」「県立図書館を見直した。」というご意見をいただきました。



起業家応援セミナー（11月）の様子

ビジネス関係専門機関担当者の声

ビジネス関係の専門機関は、このサービスにおける県立図書館の重要なパートナーです。その数は11月現在で、30機関にのぼります。ここで専門機関の担当者の方々からの声を紹介します。

★松山商工会議所 戸嶋祐介経営支援員

松山商工会議所では、4月より愛媛県立図書館のビジネス情報支援サービスと連携を始めました。

まず、商工会議所の活動内容がわかる『松山商工会議所報』をはじめ、セミナーの案内や融資制度のパンフレットなどを県立図書館に提供しました。こうして商工会議所の受付時間外でも、県立図書館で商工会議所の情報が入手できるようになりました。

また、県立図書館を会場として商工会議所主催のセミナーも実施しています。県立図書館でセミナーを行なうと、司書がセミナーの内容に関連した書籍をセレクトし、会場内に展示してくれると

いうメリットがあります。

その他でも、商工会議所に来所された方が求めるデータや情報がない場合、県立図書館を紹介させていただいております。その一方で県立図書館からも、創業予定者や経営相談を希望される方を当商工会議所へご紹介いただいております。

今後も商工会議所と県立図書館の連携により、双方の利用者に対し、有益な情報を提供し、人脈を広げるきっかけをつくっていききたいと思っています。

★愛媛県若年者就職支援センター（愛work）

山川純子センター長

学生時代には調べ物をするために図書館を活用していましたが、最近はすっかり足が遠のいていました。県立図書館から情報提供したいというお話をいただき、どのような関わりになるのかイメージが湧かないままにお願いすることにしました。実際にご提供いただいた資料の数々を見て、図書館は情報の宝庫だったということを改めて思いました。若者には、職業や企業に関する情報源として、保護者の方には、ニート、フリーターについての話題図書一覧としてお配りしています。探したい情報がどの書籍や資料に含まれているのかわからない時でも、的確にアドバイスしていただけるので、就職活動中の若者にとっても図書館は大変役に立つ場所です。

ジョブカフェ愛workのイベントに合わせて館内特設コーナーのテーマを設定したり、講師の著書紹介コーナーを講演会場に出したりしていただき、図書館のご協力に感謝しています。県民の生活向上のために協力し合っていけるパートナーが増え、心強く思っています。

よりよいサービス提供のために

ビジネス情報支援サービスは始まったばかりで、まだまだ発展途上の段階にあります。そのためこの程度のサービスしかできないのか、と失望された方もおられるかもしれません。しかし、ビジネスに関するご相談を多く受けることで職員の経験値が上がり、レベルアップに努めることができます。また、このような資料が欲しいなどのご要望をいただくことで情報のニーズを把握でき、資料の充実にも努めることができます。もっと仕事に役立つ図書館を目指したいと思っておりますので、積極的にご利用いただき、県立図書館を鍛え、育ててくださいますよう、お願いいたします。

（ビジネス情報支援サービス担当 天野 奈緒也）



図書館のパートナー、ボランティア活動中！

さらに豊かな図書館サービスを実現することを目指して導入を始めた図書館ボランティア。この活動は、地域社会を支援しようとする方々との協働によって成り立っています。今年度は活動内容を拡大し、多くの方々が取り組んでいます。

当館内におけるボランティアは、愛媛県がボランティアと地域通貨の普及を目的とした、県民とボランティア活動の引き合わせ事業「いーよネット」を立ち上げたことをきっかけに平成 16 年度から受け入れを始めました。

翌 17 年度からは前年度の反省を踏まえて、ボランティア運営要領を作成し、募集説明会を開催するなど受け入れを積極的に行い、本年度に至っています。活動の概要は次のとおりです。

1 活動内容及び活動時間

(※…18 年度から実施した活動)

(1) 一般向けサービスにかかわる活動

- 返却図書整理
- 古文書封筒整理 ※
- 土地台帳スキャニング
- 全集本の目次集作成 ※

活動時間は、週 1 回 2 時間程度です。平成 18 年度は 29 名が参加しています。

(2) おはなしボランティア ※

「おはなしだいすき！」(毎月第 2・4 土曜開催のおはなし会) で、絵本の読み聞かせや紙芝居などを実施しました。平成 18 年度は、「松山おはなしの会」15 名、「県立図書館おはなし☆グミ」12 名の 2 グループが参加しています (P 6 参照)。

活動時間は、第 2・4 土曜いずれかの「本番」1 時間程度。加えて、事前リハーサルや準備などを行っています。



古文書封筒を整理するボランティア

2 「いーよポイント」の付与

活動に対する報酬はありませんが、県の施設で利用料金の値引き等に利用できる「いーよポイント」シールを 1 時間の活動につき 1 枚 (1 ポイント) 贈呈しています。

図書展示が変わりました — 情報・知識発信型の展示へ —

これまで当館では、本の魅力を紹介するため、主に「見て楽しい」展示を行ってきましたが、今年度からは、一般利用者向けに「時事問題」や「郷土文化」に目を向けた、「情報・知識発信型の展示」に取り組んでいます。

館内に常時 3 か所程度の展示場所を設け、硬軟取り混ぜたテーマで 1～2 か月程度ずつ展示しています。



テーマ「愛媛の日本庭園」

単なる図書展示にとどまらず、図書の内容紹介や関連する新聞・雑誌記事の掲示、さらに、持ち帰り自由な関連チラシを用意するなど、利用者にとって「お得」な展示となっています。今後もご期待ください。



テーマ「臓器移植」



テーマ「コミュニティビジネスは図書館で！」

(相談係 木下 和幸)